

2025



じゆうく。 取り組み紹介

コンテンツ その1

学習・進路サポート

科目授業、テスト対策、進路伴走。「分かる」「できる」をサポートしています。



負の数を引くと何算…?



現在進行形になれない動詞って?



テスト勉強もみんなと頑張れる!



進路に向けて作戦会議

コンテンツ その2

プロジェクト伴走

「やってみたい」という1人1人の気持ちを行動に移すお手伝いをしています。



中学部

夏祭り出店予定!

8月14日四万十川祭り  
8月24日あゆ祭り



どんな企画にしようかな!



高等部

花火大会で何ができるかな?

7月31日神JAZZ  
8月9日窪川花火大会



テスト勉強もみんなと頑張れる!

塾に関する情報



四万十町宮塾「じゆうく。」  
Instagram、始めました。

日々の様子を発信しています!  
ぜひフォローしてください!



開室日時 平日16:30-20:30

通塾希望の方は、公式LINEまたはお電話で、お問い合わせください。

町宮塾「じゆうく。」 ☎050-5482-3339  
人材育成推進センター ☎0880-22-3163

四万十町宮塾「じゆうく。」LINEアカウント



大倉 剛喜さん  
(よさこい踊り子隊 四万夢多 副代表)



熱量届ける演舞を

<山の神様笑うて言うた ほんに四万十よいところ〜>  
自然豊かな古里の暮らしを表現した、おなじみの歌詞とともに「四万十町よさこい踊り子隊 四万夢多」の夏が始まる。発足から13年目を迎えた今年の踊り子は約80人。5月から、四万十町と高知市で練習を重ねてきた。

「本番では、みんなが無事に踊り切ること。まずはそれが一番ですね」。副代表を務める大倉剛喜さんが話す。約10年前、窪川高校1年の時に初めて参加し、町内で酪農の仕事に就いた今も踊り続けている。普段は控えめな印象だが、鳴子を手にすると力強く伸びやかな演舞でチームを引っ張る。

もともと、母親が「四万夢多」で踊っていたこともあり、「高校に入ったら自分も踊るもんやと思って。好きとか嫌いとか関係なく」と笑う。踊り子としては、自分でイメージした通りの動きができた時が面白いという。昨年からインストラクターとして「教える側の楽しみ」も加わった。

週3回の練習は笑顔が絶えない和やかな雰囲気だ。副代

表として、参加者のやる気やチームのリズムを大事にしながら、着実に上達するにはどう教えればいいのかを常に考える。「やっぱり、しっかり踊れてこそ楽しいと思うので」。

昨年、踊り子の一人が本番でメダルをもらう姿に思わず涙が出た。踊りを覚えるのにずっと苦労していた人だった。「自分は感動して泣きみたいなタイプじゃないんですよ。でも、ほんとに感無量でした」。

今年のチームコンセプトは「神紅(しんく)〜情熱〜」。鮮やかな赤い衣装に、四万十町の情熱と誇りを込めた。「県外からよさこいに参加して、そのまま移住する人がいるじゃないですか。『このチームもそうだったら最高やね』ってみんな話してます。それぐらいの熱量の踊りを届けたいですね」。

いざ、暑く暑い夏へ。



ちよい waza!!

町にはこんな waza も

工作が得意! 山脇 考平さん 七里小学校3年

アルマジロやアゲハチョウ、腕時計、人気ゲーム「マイクラフト」のキャラクターなどを厚紙やダンボールで手作り。本や画像を見て作り方を自分で考え、「難しいやつを作るのが好き」。最近レゴブロックの作品も増えている。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。  
ちよいwaza!!は随時募集中!



このコーナーでは、県立窪川高校、県立四万十高校、町宮塾「じゆうく。」での生徒たちの活動を月替わりで紹介します。